

◆ ヤングケアラー支援コーディネーターの配置・研修実施

昨年実施した「豊島区ヤングケアラー実態把握調査(対象:小学校4年～高校生)」では、家族の世話や家事などを行っている子どもたちの実態が浮き彫りになりました。家庭内の問題として見えづらいヤングケアラーを早期に発見し、適切に支援していくため、「ヤングケアラー支援コーディネーター」を2名を東部子ども家庭支援センターへ配置し、地域の関係機関とも連携した体制を構築します。

R4年度 豊島区ヤングケアラー実態調査結果(一部)

Q.お世話をしている家族がいますか



小学4年～6年生
「21.4%」



中学生
「4.7%」



高校生世代
「2.8 %」

Q.自身はヤングケアラーに当てはまると思いますか



小学4年～6年生
「2.2%」



中学生
「1.5%」



高校生世代
「2.3 %」

ヤングケアラー支援コーディネーターの役割

ヤングケアラー支援コーディネーターが常設の相談窓口で相談を受ける他、関係機関と連携しながらアウトリーチを行い、個々の状況を見極めながら適切なコーディネートを行います。

また、ヤングケアラーの正しい理解を促進し、地域に見守りの目を増やすために職員や関係機関向けの研修・出張講座を実施します。

ヤングケアラー支援コーディネーターの配置・研修実施
10,783千円

